

## 国道175号「東播丹波連絡道路」について

国道175号は、明石市から播磨及び丹波地方の諸都市を経て、京都府舞鶴市に至る総延長約129kmの主要幹線道路です。瀬戸内臨海工業地帯（東播磨港）と日本海側の重要港湾である舞鶴港を南北に結ぶとともに、山陽自動車道、中国自動車道や北近畿豊岡自動車道等の幹線道路を相互に結ぶ骨格路線として重要な役割を果たしています。

国道175号のうち、中国自動車道滝野社ICから北近畿豊岡自動車道水上IC付近までの区間（約30km）は「東播丹波連絡道路」として、近畿ブロック及び兵庫県新広域道路交通計画に「高規格道路」として位置付けられています。また、兵庫県の基幹道路八連携軸の1つ「播磨丹波但馬軸」に位置付けられており、「地域産業の活性化」、「交流の拡大」、「緊急輸送機能の確保」、「交通安全の向上」などの様々な役割を担う基幹道路ネットワークを構成する道路として計画的に整備が進められています。



### 東播丹波連絡道路(約30km)整備のあゆみ

- ・滝野IC関連 (1.6km)  
平成12年4月完成 (4車線)
- ・西脇バイパス (4.4km)  
平成24年3月完成 (4車線)
- ・西脇北バイパス (5.2km)  
令和2年3月 寺内ランプ～大伏ランプ間 (2.1km) 部分開通 (2車線)



完成した西脇北バイパス大伏ランプ



工事の進む(仮称)津万ランプ付近



下戸田高架橋区間の整備状況

“国土強靱化、人流・物流を支えるネットワーク”

## 第3回 国道175号東播丹波連絡道路

# 早期実現促進大会



日時

令和4年7月18日(月・祝)  
午後2時～

場所

西脇市市民交流施設「オリナスホール」

主催 国道175号東播丹波連絡道路早期実現促進実行委員会

〈実行委員会構成〉西脇市、丹波市

国道175号西脇北バイパス整備促進協議会、国道175号黒田庄バイパス整備促進協議会  
国道175号丹波市早期整備促進協議会

後援 一般国道175号整備促進期成同盟会

(会員市:神戸市、三木市、小野市、加東市、西脇市、丹波市)

## ごあいさつ

兵庫県中央から中央東部に位置する北播磨・丹波地域は、日本海と瀬戸内海をつなぐ国道175号によって、県内外の都市や港湾とつながり日本各地や海外とも交流・交易を行いながら、それぞれ発展を遂げてきました。しかし、近年、様々な社会情勢の変化によって地域経済等は厳しい環境におかれ、また、自然災害は激甚化・頻発化しています。これらの変化にしなやかに対応し、ポストコロナの地域経済復興を果たし、持続可能で魅力ある地域を創造し、未来を担う世代へ引き継いでいくことが、私たちの使命です。

道路ネットワークは地域発展の基礎であり、救命救急や災害時の救助・支援活動に不可欠な社会基盤です。国道175号「東播丹波連絡道路」は、中国自動車道滝野社ICと北近畿豊岡自動車道氷上ICをつなぐ高規格道路に位置付けられており、地域の発展と災害対応等に最も重要な道路です。特に整備中の西脇北バイパス、さらにその北の現在調査中区間である西脇市黒田庄町から丹波市氷上地域を含めた全区間の開通は地域の私たちの悲願です。

国道175号東播丹波連絡道路早期実現促進大会は西脇市・丹波市の両地域が団結し早期実現を期す活動として令和2年に第1回を開催しました。団結をさらに強め、活動を前に進めるため、第3回大会を開催いたします。

地域の新たな発展のため、「東播丹波連絡道路」早期実現に向けた皆様の力強い御支援を、よろしくお願い申し上げます。

令和4年7月18日

### 国道175号東播丹波連絡道路早期実現促進実行委員会

会長 片山 象三 (西脇市長)

副会長 林 時彦 (丹波市長)

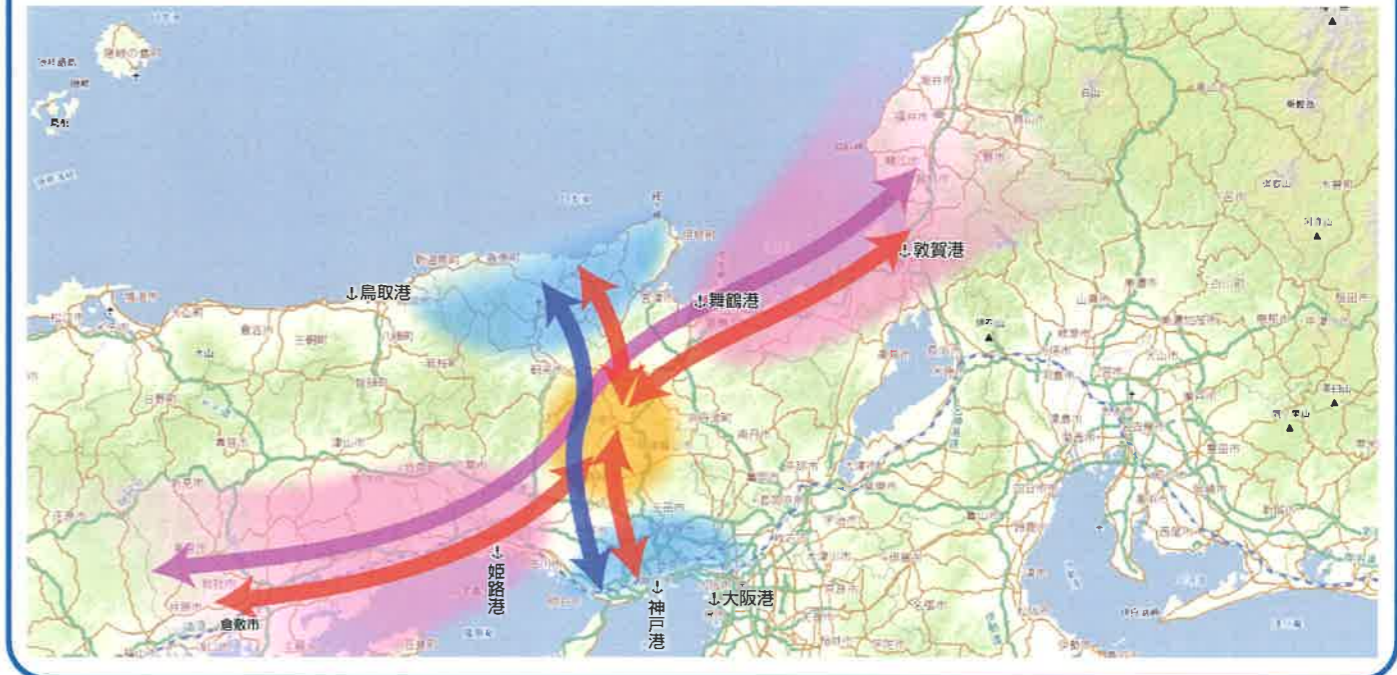
足立 泰啓 (国道175号西脇北バイパス整備促進協議会 会長)

荻野 泰久 (国道175号黒田庄バイパス整備促進協議会 会長)

里 尚 (国道175号丹波市早期整備促進協議会 会長)

## 期待される効果【広域】

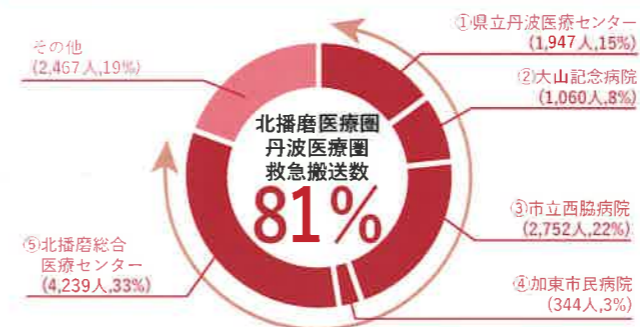
整備により兵庫県を南北に繋ぐ「東播丹波但馬軸」の機能が強化され、兵庫県の南北間をはじめ、北陸・瀬戸内地域間の交通交流の活発化が期待されます。



## 期待される効果【地域】

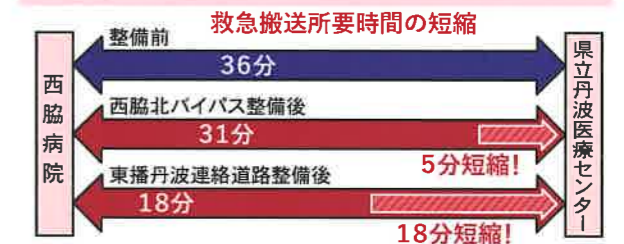
### ● 命をつなぐ道路ネットワークの構築

■ 北播磨・丹波医療圏は81%が国道175号沿線病院へ搬送



出典：北はりま・三木市・小野市・丹波市消防本部統計資料(R3)

■ 沿線病院連携ネットワークの強化



東播丹波連絡道路の整備により、救急搬送にかかる時間が半分に短縮し、救命率が向上!(呼吸停止後、未処置10分で約50%が死亡)

\*ルート未決定区間は、速度のみ設計速度80km/hで試算

●生産性の向上 ●交通安全、渋滞の解消 ●災害対応の向上 など



令和8年春の供用に向けて工事の進む西脇北バイパスの津万高架橋